

# F-ROAD ピンビープロジェクト<sup>セカンドシーズン</sup> Vol.22

## SUPER-BEETLE PROJECT 2nd SEASON

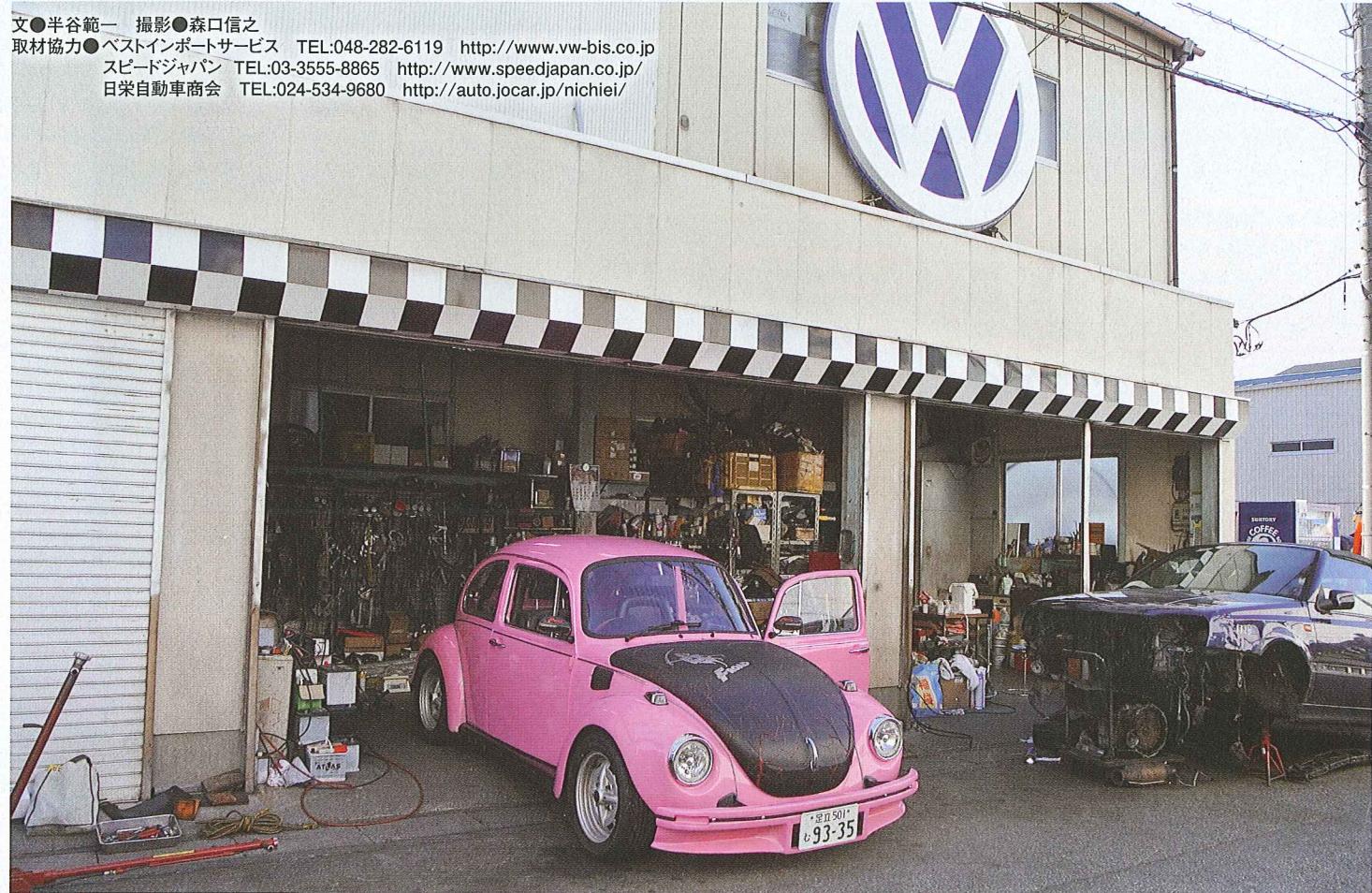
# そろそろ完成間近! 最後の難敵インパネに挑む!

長いものでこの企画もすでに約2年経過。草レースにも出たしイベントにもちょくちょく顔を出し、

当初の目的は果たせたかなと思う。あとはスタートから懸念されていたインパネ移植だ。

何とか形は整ったようだが、まだ完成には至らない。ピンビーで取材に行きまくる日は来るのだろうか!?

文●半谷範一 撮影●森口信之  
取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>  
スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>  
日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 <http://auto.jocar.jp/nichiei/>



今日は古Q編集長は血管が浮き出しちやつた気色悪いフロントフェードを、さらに氣色悪くするための新兵器を携えて登場。付き合いは長いけど、この人が何を考えているのかは未だに全然分かりません。おそらく今後も一生分かることはないでしょう。

3歩進んで2歩戻るを繰り返していなボロのインパネ移植の作業も、とりあえず今回で完成になりました。「とりあえず」と書いたのは言葉のあやでもなく、BISの山崎社長としては、現在の状態で寸法を測つておいて、部品取りとして在庫している別のボロでも一度きれいに作り直したいと思ってるそうです。まあ確かに今は初めてのチャンレンジだったこともあり、インパネをカットする位置の問題だとか何だとか、いくつか改良できる点もありますからね。

今月の新しい作業としてはリアフードの取り付けがありました。前回も書いた通り、ピンビーは軽量化のために今まで使っていたスチール製のリアフードを取り外し、森口さんがゲットしてきてくれたFRP製のリアフードを取り付けることにしました。しかし、そのままではナンバーのステーもないし、ナンバー灯もない状態なので、それらを移植する必要があるのです。ストリート仕様にコンバートするという作業も、今月号でほぼ終了。どう

なりそうですね。

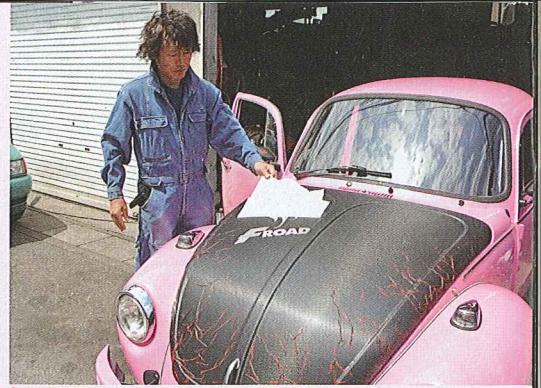
先月号ではカーボン調ラッピングで大成功を収めた(という事にしておきました)。我らがピンビー、いよいよストリート仕様へのコンバージョンも佳境を迎えることになりました。

今回、古Q編集長は血管が浮き出しちやつた気色悪いフロントフェードを、さらに氣色悪くするための新兵器を携えて登場。付き合いは長いけど、この人が何を考えているのかは未だに全然分かりません。おそらく今後も一生分かることはないでしょう。

3歩進んで2歩戻るを繰り返していなボロのインパネ移植の作業も、とりあえず今回で完成になりました。「とりあえず」と書いたのは言葉のあやでもなく、BISの山崎社長としては、現在の状態で寸法を測つておいて、部品取りとして在庫している別のボロでも一度きれいに作り直したいと思ってるそうです。まあ確かに今は初めてのチャンレンジだったこともあり、インパネをカットする位置の問題だとか何だとか、いくつか改良できる点もありますからね。

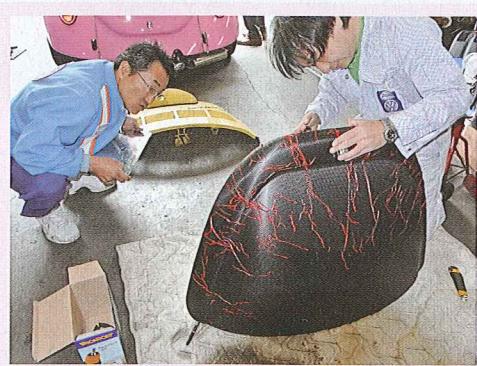
今月の新しい作業としてはリアフードの取り付けがありました。前回も書いた通り、ピンビーは軽量化のために今まで使っていたスチール製のリアフードを取り外し、森口さんがゲットしてきてくれたFRP製のリアフードを取り付けることにしました。しかし、そのままではナンバーのステーもないし、ナンバー灯もない状態なので、それらを移植する必要があるのです。ストリート仕様にコンバートするという作業も、今月号でほぼ終了。どう

なりそうですね。



位置決めのために仮止めしてあったインパネ、今月はステーを使ってきちんと固定することにしました。ステアリングとメーターパネルのひさしの距離が近くなってしまうので心配していたのですが、オーナーの古Q編集長は全然気にならない様子。将来的には、ダッシュの中央部分にiPadみたいなパッドを埋め込みたいという希望もありますが、残念ながら予算的にも時間的にも厳しいので、当面はこのような4連メーターを取り付けておくことにしましょう。

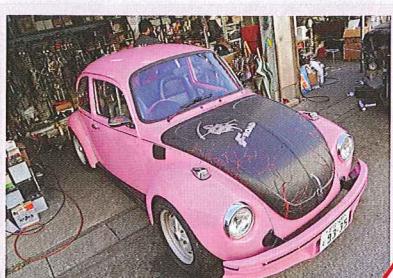
古Q編集長、何を大事そうに持ってきたのかと思ったら、新作の特大のステッカーでした。何が書いてあるかと思ったら、こんな死神のマークが出現。あまり近寄りたくないイメージのクルマでしたけど、さらに近寄りがたくなってしまいました。



このFRP製のリアフードはレース用に使用されていた物のよう、ナンバープレート周りの物が何も取り付けされていません。そこで、他車からパーツを外して移植することにしました。さすがにカーボン調のリアフードのど真ん中に、ペイントされたナンバー灯カバーが付いてしまったらメチャクチャ格好悪いので、そこにも前回余ったカーボン調のシールでラッピングしておくことにしました。

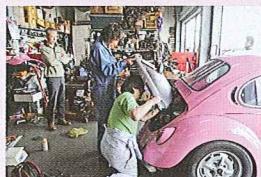


このフードを実際に使用するためには、ナンバープレートを取り付けるためのステーを移植しなければなりません。駐車場などに停めておくときのことを考えると、悪戯されないようにフードのロックも必要でしょう。ナンバープレートのステーはネジで簡単に外れる構造では車検が取得できないので、リベットを使用して外せないようにして固定します。もちろんナンバープレートの封印も陸事でやり直してもらわなければなりませんね。



ビンピーにFRP製のリアフードを装着する理由は軽量化。まあこの写真通り、実際の軽量化というより、視覚的=気持ちの上での軽量化効果の方が

大きいかも知れませんけどね。ビートルの場合、軽量化できる部分がフロントに集中しているので、気を付けてないと重量バランスが狂って乗り難くなります。



最後の仕上げはリアフードの取り付け。このFRP製フードには、冷却用スリット等はまったくありません。そのまま完全に閉じてしまうと、エンジンルーム内の温度が上がって色々な不具合が生じる可能性があります。しかし、草レース用のクルマであるビンピーの場合、フード上側が少し開いた状態にしてあるので、渋滞時はそこから熱が上に逃げますし、走行時にはフレッシュエアが大量に入ります。でも雨は苦手だなあ。

